化学物質等安全データシート

1.化学物質及び会社情報

昭　和　化　学　株　式　会　社
東京都中央区日本橋本町４－３－８
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡　　同　上
改訂　平成19年12月7日

化学物質等のコード　：　1622-8129

化学物質等の名称　　：　塩化白金(Ⅳ)五水和物
（別名：塩化第二白金五水和物）

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：　本品に関するデータが不足しているため、ＧＨＳ分類できない。
現時点で物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性の全項目は、
「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

ラベル要素：　該当なし
（絵表示又はシンボル）

注意喚起語：　該当なし

危険有害性情報：
・最重要危害性：該当なし（旧分類基準）
・有害性：　有害性は低いが、眼、皮膚、粘膜に対し、刺激感、発赤の症状が出現することがある。
大量に吸入、飲み込んだ場合、咳、痛みなどの呼吸器障害が現れることがある。
・環境影響：　データなし
・物理的及び化学的危険性：
通常の取扱いで危険性は低い。
火災で熱分解すると、有害なハロゲン化物、白金のヒュームが発生する。

注意書き
【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護眼鏡、保護面、保護手袋、保護衣を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
眼の刺激がある時は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
直射日光を避け、容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合製品の区別　：　単一製品
化学名　　　　　：　塩化白金(Ⅳ)五水和物
（別名）塩化第二白金五水和物
成分及び含有量　：　塩化白金(Ⅳ)五水和物、　45.5%以上（Pt含量として）

化学式又は構造式　:　$PtCl_4 \cdot 5H_2O$
分子量　:　426.97
官報公示整理番号（化審法，安衛法）　:　(1)-1145
ＣＡＳ Ｎｏ　:　未登録（参考：無水物13454-96-1）

4.応急処置

吸入した場合　:　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当、診断を受けること。
皮膚に付着した場合 :　皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
目に入った場合　:　水で数分間、注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合　:　口をすすぐこと。
牛乳、卵白を飲ませ、吐かせる。
意識がない場合は、無理に吐かせないこと。
医師の手当、診断を受けること。

5.火災時の処置

消火剤　:　不燃性。
周辺火災に種類に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の危険有害性　:　火災によって刺激性、毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法　:　周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護 :　消火作業の際は、空気呼吸器を含め完全な防護服（耐熱性）を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :　直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（８．ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
風上に留まる。
環境に対する注意事項 :　河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境へ排出しないこと。
漏出物は回収すること。
回収、中和　:　漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。後処理として、漏洩場所は多量の水で洗い流す。回収物は、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 :　危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策　:　すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い
技術的対策　:　『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気 :　『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項 :　使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
粉塵、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
接触回避　:　『１０．安定性及び反応性』を参照。
保管
技術的対策　:　保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
保管条件　:　直射日光をさけること。
容器を密閉し、涼しく乾燥した場所に保管すること。
施錠して保管すること。
混触危険物質　:　『１０．安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料　:　ガラスなど

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度　:　未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標） :
日本産衛学会（2006年版）　未設定

ACGIH（2006年版）　　　　TWA 0.002mg/m3（白金として）
設備対策　：　この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
高熱取扱いで、工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　：　呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具　：　保護手袋を着用すること。
眼の保護具　：　眼、顔面用の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：　保護衣を着用すること。
衛生対策　：　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：　茶～褐色の結晶又は結晶性粉末
臭い　：　無臭
pH　：　酸性（水溶液）
融点・凝固点　：　分解（無水物：370℃で分解）
沸点、初留点及び沸騰範囲：　データなし
引火点　：　不燃性
爆発範囲　：　データなし
蒸気圧　：　データなし
蒸気密度（空気 = 1）　：　データなし
比重（密度）　：　データなし（無水物：4.3、20℃）
溶解度　：　水、エタノール、アセトンに溶ける。
オクタノール/水分配係数　：　データなし（無水物：0.47）
自然発火温度　：　不燃性
分解温度　：　データなし
臭いのしきい（閾）値　：　データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）　：　データなし
燃焼性（固体、ガス）　：　不燃性
粘度　：　データなし

10.安定性及び反応性

安定性　：　通常の取扱で安定である。
危険有害反応可能性　：　データなし
避けるべき条件　：　加熱、日光
混触危険物質　：　強酸化剤、強塩基性物質
危険有害な分解生成物：　火災時に有毒なハロゲン化物、白金のフューム、ガスを放出する。

11.有害性情報

急性毒性　：　経口　ラット LD50＝276mg/kg (RTECS)
経皮　データなし
吸入（粉塵）データはないが、呼吸器への障害が現れることがある。
皮膚腐食性・刺激性　：　ウサギ 100 mg/24H 軽度 (RTECS)
繰り返し皮膚と接触すると、皮膚炎で特徴づけられる白金症が現れることがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：データはないが、刺激感、発赤などの諸症状が現れることがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：　呼吸器感作性：情報なし
皮膚感作性：　情報なし
生殖細胞変異原性　：　知見なし
発がん性　：　データなし
生殖毒性　：　データなし
特定標的臓器・全身毒性
（単回ばく露）　：　データなし
特定標的臓器・全身毒性
（反復ばく露）　：　データはないが、長期暴露により、鼻腔、上気道刺激作用、鼻汁、流涙、咳等の症状が出ることがある。
吸引性呼吸器有害性　：　情報なし

12.環境影響情報

水生環境急性有害性　：　データなし
水生環境慢性有害性　：　データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の

上処理を委託する。
（参考）焙焼法
還元焙焼法により金属白金として回収する。

汚染容器及び包装 ： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制
海上規制情報　IMOの規定に従う。
UN No. : 3260
Proper Shipping Name : CORROSIVE SOLID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
Class : 8
Packing Group : Ⅲ
Marine Pollutant : Not applicable
航空規制情報　ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. : 3260
Proper Shipping Name : Corrosive solid, acidic, inorganic, n.o.s.
Class : 8
Packing Group : Ⅲ
国内規制
陸上規制情報　該当なし
海上規制情報　船舶安全法の規定に従う。
国連番号 : 3260
品名 : その他の腐食性物質（無機物、固体、酸性のもの）
クラス : 8(腐食性物質)
容器等級 : Ⅲ
海洋汚染物質 : 該当なし
航空規制情報　航空法の規定に従う。
国連番号 : 3260
品名 : その他の腐食性物質（無機物、固体、酸性のもの）
クラス : 8
等級 : Ⅲ
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
移送時にイエローカードの保持が必要。

15.適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）（政令番号　第437号）
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）: 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
消防法 : 非該当
船舶安全法 : 腐食性物質
航空法 : 腐食性物質
海洋汚染防止法 : 非該当

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR･MSDS対象物質全データ　化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ　化学工業日報社(2007)
化学物質の危険･有害便覧　中央労働災害防止協会編
化学大辞典　共同出版
安衛法化学物質　化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)　医歯薬出版
化学物質安全性データブック　オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)　三共出版
化学物質の危険・有害性便覧　労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH　CD-ROM
GHS分類結果データベース　nite（独立行政法人　製品評価技術基盤機構）　HP
GHSモデルMSDS情報　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター　HP